PRESS RELEASE

株式会社Proud Partners

2026 年 11 月 13 日

報道関係者各位

株式会社 Proud Partners
ヒタチ株式会社

【自動車運送業分野】ウズベキスタン共和国内閣府移民庁経由
初の特定技能ドライバー、第一陣が 2026 年 11 月に入国
～ヒタチ株式会社の千葉県、都内の拠点に配属、2027 年 3 月頃の乗務開始を目指す～



■羽田空港経由で入国した 2 名（中央） ※両端は弊社社員（2026 年 11 月 11 日撮影）

特定技能人財の紹介・定着支援事業を展開する株式会社 Proud Partners（本社：東京都新宿区、代表取締役：鈴木竜二、以下「Proud Partners」）およびダイセーグループで食料品輸送サービスを全国展開するヒタチ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：伊藤信政、以下「ヒタチ社」）は、ウズベキスタンから自動車運送業分野の特定技能 1 号人財としてヒタチ社で就労予定の 5 名のうち 2 名が、第一陣として、**2026 年 11 月 11 日に羽田空港経由で入国し、千葉ハブセンター(千葉県千葉市美浜区新港 88)に配属する**ことをお知らせいたします(2 名のコメントは後述)。また、**残りの 3 名も今月中に入国し、ヒタチ社の都内の拠点に配属予定**です。配属後には、**2027 年 3 月頃の乗務開始を目標**に、各拠点において、外免切替にて普通免許または準中型を取得後、免許合宿にて中型免許を取得することになります。

入国第一陣の 2 名を含め、ヒタチ社で就労予定の 5 名は、**ウズベキスタン共和国内閣府移民庁（以下、ウズベキスタン移民庁）が日本に送り出した初のウズベキスタン出身「特定技能ドライバー」**です（ウズベキスタン移民庁調べ）。

弊社は、ウズベキスタン移民庁と 2025 年 9 月に「特定技能人財育成に関する国際労働協定」を締結しており、**現地で特定技能人財の育成拠点「ウズベキスタン プラウドアカデミー（以下、UPA）」を運営しております。**今後も、ウズベキスタン政府、UPA 関係者とともに**育成の質・スピードを両輪に、より多くの特定技能ドライバーの早期輩出に尽力します**。また、国内においては、登録支援機関として、入国後の特定技能ドライバーの業務・日常生活両面での支援の質を高め、受入企業・特定技能ドライバー双方の利益につなげ、国内自動車運送・物流業界、ひいては国民生活の安定に貢献して参ります。

【参考①】登録支援機関とは、特定技能人財が業務及び日常生活を円滑に行えるための支援を、特定技能人財の受入企業に代わって実施できる機関です。
【参考②】特定技能１号については、10 の義務的支援の対象となっています。

関係者からのコメント

Mirzayev Khurshidbek（ミルザエフ・フルシドベック）さん



私は、子供の頃に見たドラマ『おしん』がきっかけで、日本を知りました。日本は、世界でも有数の経済・技術の先進国というイメージがあります。

私は、これまでずっと地方から地方へ荷物を運ぶ仕事をしてきて、トラックを運転することが自分にとって一番の強みでありやりがいです。

日本でも自覚と責任感を持って業務に取り組み、残業や急な手配にも意欲的に対応して成果を出していきたいです。

Yusupov Odiljon（ユスポフ・オディルジョン）さん



私は、以前日本に行ったことがあり、日本でまた働きたいと思っていました。そして、子どもたちのためにより良い将来を築きたいです。

日本の一番好きなところの一つは、規律の正しさや責任感、そして時間を守る文化が非常に高いレベルにあることです。

私はこどもの頃から車、特にトラックが大好きです。日本に行ってトラックを運転し、この分野で経験を積むことが私の夢の一つです。また、残業などの機会があれば全力で働き、自分の目標を達成したいと思っています。

ヒタチ株式会社 千葉 HC 輸送統括リーダー 鈴木様



ウズベキスタンからの第一陣となるフルシドさん、オディルさんの千葉ハブセンターへの配属、心より歓迎します！

このたびは、Proud Partners 様の現地アカデミー（UPA）における充実した日本語教育はもちろん、独自の運送業向け研修プログラムによる基礎からの安全運転教育といった徹底したサポートのおかげで、こうして頼もしい即戦力のお二人を迎えられたことに心より感謝いたします。

慣れない日本での生活や新しい仕事に、不安もたくさんあることと思います。でも安心してください。
「現場はいつも楽しい！！」をモットーに、私たちがしっかりサポートしますので、まずは日本の環境に慣れることから一歩ずつ始めていきましょう。
これから一緒に働けるのをとても楽しみにしています！

自動車運送業界の深刻な「ドライバー不足」

国内の自動車運送業界は、少子高齢化等を背景にドライバー不足が深刻化しており、**2024 年 4 月からの時間外労働時間の上限適用**も相まって、**2028 年度にはドライバーが 27.8 万人不足する**との予測もあります[1]。また、トラック運転者の有効求人倍率も高水準で推移[2]しており、厚生労働省の発表によれば、自動車運転職（トラックドライバー含む、常用・パート含む）有効求人倍率は 2.37 倍（2026 年 5 月時点）で、全産業平均の約 2 倍以上となっており、深刻な人手不足が続いています。

一方で、**ヒタチ社に入社する当該 5 名は、海外でのトラックドライバー経験者でもあり、UPA の第一期生として入校後 3 ヶ月強にあたる 2026 年 5 月末**までに、**日本での特定技能 1 号ドライバーとしての入国条件**（特定技能 1 号ビザ申請要件/自動車運送業分野特定技能 1 号評価試験（トラック）合格・JFT-Basic（国際交流基金日本語基礎テスト）A2 レベル合格）を満たしております（詳しくはこちら）。

また、**ヒタチ社専用のカリキュラム等を履修し、即戦力ドライバーとして UPA を優秀な成績で修了**しています。

＜ヒタチ社専用＞UPA での即戦力ドライバーの育成内容
0. ヒタチ社の採用担当者が、UPA 入学選考会にて素行や仕事への熱意、日本文化への好意などを審査し、採用候補者を選抜
1. 自動車運送業に特化した日本語、技能（安全教育を含む）
2. 日本での生活・文化への適応を円滑にするための、日本国内での生活ルール講座
3. ヒタチ社専用教材による独自カリキュラム（安全・品質、社内用語等）

ヒタチ株式会社について

ダイセーグループのヒタチ株式会社は、北海道から九州まで全国に物流拠点を置き、コンビニエンスストア・量販スーパーを中心に食品を輸送することで食生活の安定供給、「食の安全」をお手伝いする物流会社です。

徹底した温度管理で【冷凍・冷蔵・定温】の食品を 365 日 24 時間、バリエーション豊かな車両でフレキシビリティなロジスティクスを提供します。

会社概要

設立：1980 年 11 月

住所：東京都千代田区岩本町 3-4-6

[1] 詳しくは、ニッセイ基礎研究所 WEB をご参照願います。https://www.nissay.co.jp/enjoy/keizai/118.html

[2] 詳しくは、厚生労働省「職業安定業務統計」（トラック運転者の有効求人倍率）をご参照願います。2025 年度は 2.49 倍（全職業平均は 1.09 倍）となっています。

資本金：2,940 万円（2026 年 4 月時点）
事業内容：貨物自動車運送事業／倉庫業
代表取締役社長：伊藤 信政
HP： https://www.d-hitachi.co.jp/

ウズベキスタン政府と連携した特定技能人財の育成について

ウズベキスタン政府と連携した特定技能人財の育成は、ウズベキスタン・日本の両国が抱える課題の解決を目指し、外国籍人財の海外育成と循環型の人材サービスを通じて、外国籍人財とともに「日本の未来」を形づくっていくものです。育成分野としては、自動車運送業分野から開始し、建設業にも拡大予定で、ゆくゆくは、ウズベキスタン市場への進出を検討する日本企業の包括的支援も視野に入れています。

自動車運送業分野においては、ウズベキスタン政府との連携により、現地の育成訓練校「UPA」で 6 ヶ月間の日本語研修に加え、2026 年秋頃には日本の法規・基準に則った安全教育と運転技術に関する実地教習（2-4 ヶ月間）を経て、日本の交通ルールを前提とした日本式の安全な運転技術やマナー・交通ルール・緊急対応などを基礎から身に着け、日本国内の運送網を支える即戦力、特定技能ドライバーを育成します。

国内運送企業にとっては一層安心安全な特定技能人財（トラックドライバー）の採用が可能になります。

<table>
<tr><th colspan="3">ウズベキスタン政府との特定技能人財育成プロジェクト（自動車運送業向け）</th></tr>
<tr><td>目的</td><td colspan="2">基礎から安全運転を徹底教育することで、日本国内の運送網を支える即戦力ドライバー（特定技能人財）を育成</td></tr>
<tr><td>特長</td><td colspan="2">独自の運送業向け研修プログラムにより、ウズベキスタンにて 8 ヶ月間の日本語教育と運転技能の習得を行い、安全運転技術を身につけた特定技能ドライバーを育成
1. 運送業特有の課題を網羅したカリキュラム（長距離運転時の疲労管理、悪天候時の安全運転、都市部での駐車技術など）
2. 日本の道路標識や交通ルールの徹底理解（座学、実地訓練）
3. 大型車両の実務的な運転技術の習得（実車を用いた実地研修）
4. 緊急対応トレーニング（事故や緊急時対応を想定したシミュレーション）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">その他</td><td colspan="2">ウズベキスタン政府と Proud Partners の主な役割分担は次の通り</td></tr>
<tr><td>ウズベキスタン政府</td><td>Proud Partners</td></tr>
<tr><td>1. 候補者の集客
2. 教育施設や車両、研修場所の提供</td><td>1. 日本語の教育
2. 運転技術や安全講習の教育
※ダイセーグループのイズミ物流株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：平川 信）が共同育成予定です。</td></tr>
</table>

UZBEKISTAN PROUD ACADEMY（ウズベキスタン プラウドアカデミー/UPA）について







■UPA での育成の様子

UPA は、Proud Partners がウズベキスタン政府と進める「運送業界に特化した特定技能人財育成プロジェクト」において、ウズベキスタンから日本へ安全・即戦力となるトラックドライバー（特定技能１号人財）を送り出すことを目的とした育成訓練校です。

700 名規模の育成が可能な教育施設で、育成人材が安心して実務的な日本語・日本式の安全な運転技術やマナー・交通ルール・緊急対応などを基礎から身に着けられるよう、本人や家族による金銭的な負担を極力なくし、ウズベキスタン政府が提供する寮を利用するなど、教育面・生活面の環境を整えています。

学校名	UZBEKISTAN PROUD ACADEMY（ウズベキスタン プラウド アカデミー）
所管役員	株式会社 Proud Partners 取締役 岡村アルベルト
現地責任者	小林 佐右長（こばやし　さゆなが）
所在	ウズベキスタン共和国タシケント州アングレン市 ※首都タシケントより 77km 南東に位置し、ウズベキスタン政府が運営する「TOSHKENT VILOYATI QURILISH SOHASI MALAKALI MUTAXASSISLARINI TAYYORLASH MARKAZI」の敷地内
設立目的	ウズベキスタン政府と進める「運送業界に特化した特定技能人財育成プロジェクト」において、ウズベキスタンから日本へ安全・即戦力となるトラックドライバー（特定技能１号人財）を送り出す



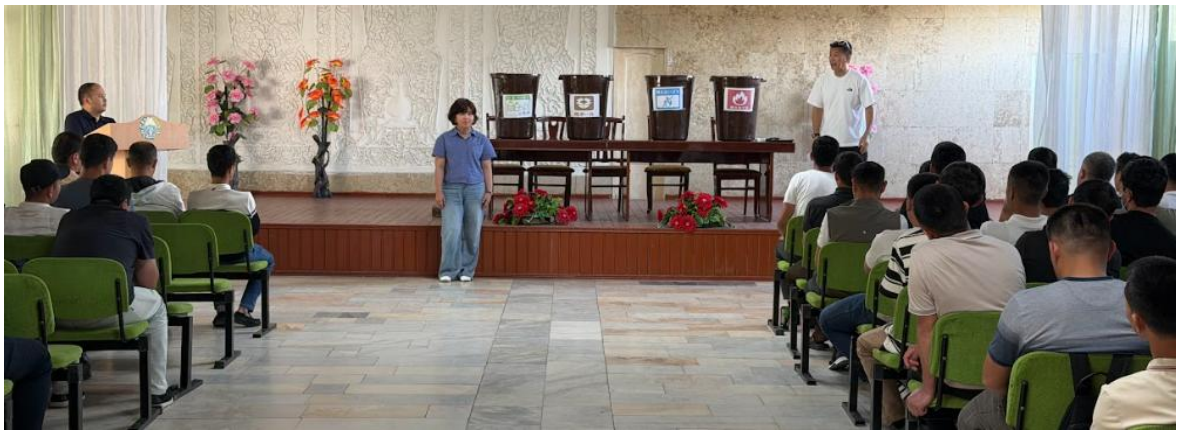
■UPA の正門（左）、教室棟（右上）、食堂（右下）の様子

UPA の教育の主な特色

1. 教育方針：「生徒のモチベーションを維持したまま、短期間で長時間、効率的に学習できるか」の実践
2. 徹底した日本式の規律訓練：「気持ちの良いあいさつ」、「完全に規律のとれた生活態度」の練習等
3. 定期的な「道徳」の授業：研修生が特定技能ドライバーとして国内で就労し定着しやすくなるように、日本人の習慣、感覚を理解する時間を確保
4. 自動車運送業における法的義務事項（安全管理・運行管理義務）等の疑似履行：点呼、十分な睡眠や体調の確認、アルコールのチェック、業務で必須のあいさつの復唱練習、ラジオ体操を疑似的に「毎日欠かさず」実施



■ラジオ体操前の整列



■日本でのごみ分別についての説明会

【UPA】アクティビティを通じた特定技能（自動車運送業）の研修例
・運転時に使用する日本語を覚えるための疑似運転活動
・日本の職場を模した朝礼での点呼や、協調性をはぐくむためのドッジボール
・乗車しながら、日本とウズベキスタンの交通ルールの違いを考える活動

株式会社 Proud Partners について

株式会社 Proud Partners は、外国籍人材が公平かつボーダレスに働き、日本社会に貢献できる仕組みを実現することを目指し、建設業・飲食業を中心に特定技能分野で延べ 7,481 名以上、2,000 社・3,624 店舗への人材支援実績を誇る業界トップクラスの企業です（2026 年 1 月時点）。

「生まれる場所は選べないが、自分が生きる場所は後から選ぶことができる」

―そんな考え方を大切にし、その選択を後押しできる企業であることを目指し、サービスを展開しています。

会社概要

設立：2012 年 7 月
住所：新宿本社（東京都新宿区北新宿 2-21-1 新宿フロントタワー28 階）
資本金：1 億円（2024 年 6 月時点）
事業内容： 特定技能専門人材紹介事業 、登録支援事業
代表取締役：鈴木竜二
HP： https://proudcorp.com/

お問合せ先

お客様からの特定技能人財に関するお問い合わせ先

https://proudcorp.com/contact/

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 Proud Partners
社長室（担当：鈴木綾）
メールアドレス：pr@proudcorp.com

ヒタチ株式会社
経営管理本部（担当：山田圭吾）
メールアドレス：jinji_soumu@d-hitachi.co.jp

以上